

安全データシート

ページ: 1/13

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 29. 11. 2024

製品: ISOTRIDECANOL N

バージョン: 4.0

(30034826/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 16.10.2025

1. 化学品及び会社情報

品名:

ISOTRIDECANOL N

用途: プロセスケミカル, 溶媒

供給者の会社情報、住所及び電話番号:

BASFジャパン株式会社

東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号

OVOL 日本橋ビル 3階

電話番号: +81-3-5290-3000

Eメールアドレス: Japan-SDS-Info@basf.com

緊急連絡先:

電話番号: 03-6634-2245

+49 180 2273-112 (International emergency number)

2. 危険有害性の要約

【化学品のGHS分類】:

皮膚腐食性/刺激性: 区分2

水生環境有害性 短期(急性): 区分1

水生環境有害性 長期(慢性): 区分1

M-ファクター急性: 1

M-ファクター慢性: 1

【GHSラベル要素】:

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

警告

危険有害性情報:

H315 皮膚刺激。
H400 水生生物に非常に強い毒性。
H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き（安全対策）:

P273 環境への放出を避けること。
P280 保護手袋を着用すること。
P264 取扱い後は汚染された体の部分をよく洗うこと。

注意書き（応急措置）:

P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
P391 漏出物を回収すること。
P332 + P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、そして再使用する場合には洗濯をすること。

注意書き（廃棄）:

P501 適切に分別した内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託すること。

GHS分類に関係しない又は GHSで扱われない他の危険有害性:

この項に、有効な情報の記載がある場合、それは、GHS分類の結果ではなく、物質もしくは混合物の総合的な危険性に寄与する可能性があるGHS分類以外の危険性に関するものである。

12章のPBT（難分解性、生物蓄積性、毒性を有する物質）とvPvB（難分解性と生物蓄積性が極めて高い物質）の評価結果を参照。

3. 組成及び成分情報

化学特性

化学物質・混合物の区別: 単一製品

イソトリデカン-1-オール

CAS番号: 27458-92-0

化審法: (2)-217

労働安全衛生法: (2)-217

GHS分類に寄与する成分

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 29. 11. 2024
製品: ISOTRIDECANOL N

バージョン: 4.0

(30034826/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 16.10.2025

イソトリデカン-1-オール

含有量 (W/W): $\geq 99.8\%$ - $\leq 100\%$

CAS番号: 27458-92-0

化審法: (2)-217

労働安全衛生法: (2)-217

皮膚腐食性／刺激性: 区分 2

水生環境有害性 短期(急性): 区分 1

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 1

M-ファクター急性: 1

M-ファクター慢性: 1

化学式: C13 H28 O

4. 応急措置

[応急措置をする者の保護に必要な注意事項]:

汚れた衣服は取り替える。

[吸入した場合]:

安静にし、新鮮な空気の場所に移動させ、医師の診察を受けること。

[皮膚に付着した場合]:

石鹸と水で完全に洗い流すこと。

[眼に入った場合]:

直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

[飲み込んだ場合]:

直ちに口をすすぎ、200-300mlの水を飲み、医者の診察を受ける。

[医師に対する特別な注意事項]:

症状: 情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。

危険有害事項: 情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。(他の)症状や影響については現時点で知られていない。

処置: 症状に応じて処置(洗浄・機能回復)を講じる。特に解毒剤なし。

5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:

粉末, 噴霧水, 二酸化炭素, 泡

[使ってはならない消火剤]:

棒状放水

[追加情報]:

周囲の環境に適した消火方法をとること。

[火災時の特有の危険有害性]:

本品は可燃性である。容器を噴霧水で冷却する。製品安全データシートの第7項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。

[消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置]:
自給式呼吸器を着用のこと。消防士のための特別な保護具

[追加情報]:
関係者以外を立ち入り禁止。消火作業は可能な限り火から離れて行うこと。

[追加情報]:
消火対策を周囲に拡張する。汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分する。

6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置]:
労働安全衛生に関する実施基準に従い、取り扱うこと。

[環境に対する注意事項]:
環境への流出を避けること。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:
適切な器具を用い回収し、廃棄すること。こぼれた製品は回収し、固化させ、廃棄用の適切な容器に入れる。法令に従って吸着剤を廃棄すること。

[追加情報]: 漏出／流出により床が滑りやすくなるので注意する。

漏出の原因を遮断又は停止させる。物質/製品の漏出は安全な条件下で遮断又は停止させること。

廃棄する為には固く閉めた容器に詰める。

7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]
労働安全衛生に関する実施基準に従い、取り扱うこと。

安全取扱注意事項:
注意事項は特になし。物質/製品は引火性なし。

[保管]
保管条件に関する追加情報: 容器は密閉して乾燥した場所に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

物質固有の職業曝露限界値は知られていない。

【保護具】

[呼吸用保護具]:

換気が不十分な場合は、呼吸保護具を着用すること。有機化合物（沸点65℃以上）のガス／蒸気用ガスフィルターEN 14387 A型

[手の保護具]:

長時間にわたる直接接触でも問題ない素材でできた耐薬品性保護手袋（EN ISO 374-1）（保護指針6に準ずることが望ましい。EN ISO 374-1によると、透過時間は480分以上であること）：ニトリルゴム（0.4 mm）、クロロプレンゴム（0.5 mm）、ブチルゴム（0.7 mm）など。

種類が多岐にわたるため、製造業者が指示した方法を遵守すること。

補足：仕様は、試験、文献データ及び手袋製造業者の情報に基づくもの、あるいは類似の物質から類推されたものである。条件が多いため（温度など）、耐薬品性保護手袋の実際の使用時間は試験で別途得られた物質透過時間よりかなり短いと考えなければならない。

[眼の保護具]:

サイドシールド付き安全眼鏡（フレームゴーグル）（例 EN 166）

[皮膚及び身体の保護具]:

作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等（飛散の場合は、EN 14605に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982に従う。）。

[一般的な安全及び衛生対策]:

労働安全衛生に関する実施基準に従い、取り扱うこと。所定の保護具に加えて、上下一体型作業衣の着用が必要である。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態: わずかに粘性あり、油状

色: 無色、透明

臭い: ほぼ無臭

臭いのしきい値: 測定されていない。

pH: 適用せず

融点: -78 ° C (DTA (differential thermal analysis: 示差)

沸点: 260.8 ° C (その他)
(1,013 hPa)

引火点: 128 ° C (ISO 2719)

蒸発率: 値は、ヘンリー則定数もしくは、蒸気圧から類推することができる。

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 29. 11. 2024
製品: ISOTRIDECANOL N

バージョン: 4.0

(30034826/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 16.10.2025

可燃性 (固体/ガス):	ほとんど可燃性でない	(引火点から導きだした)
爆発下限界:	分類と表示に関連しない液体に関するものである。、爆発下限界は、引火点より5-15°C低い可能性がある。	
爆発上限界:	分類と表示に関連しない液体に関するものである。	
自然発火温度:	230 ° C	(DIN 51794)
熱分解:	通常取り扱い条件下で危険分解物なし。	
自己発火性:	構造特性から、この製品は、自己発火性に分類されない。	試験の種類: 室温において自然発生する自己発火性。
自己発熱性:	該当しない、製品は液体である。	
SADT:	試験は、科学的に正当化されていない。GHSによれば、自己分解し易い物質/混合物ではない。	
爆発危険有害事項:	化学構造に基づき、爆発性の性質を示すものはない。	
火災を引き起こす性質:	構造的長に基づき、製品は酸化剤に分類されない。	
蒸気圧:	< 0.01 hPa (20 ° C) 0.022 hPa (50 ° C)	
密度:	0.8426 g/cm3 (20 ° C)	(OECDテストガイドライン 109)
相対密度:	0.8426 (20 ° C)	
相対ガス密度 (空気):	6.9 (20 ° C) 空気より重い。	(算出)
水に対する溶解性:	2 mg/l (20 ° C)	
溶解度 (定性的) 溶媒:	有機溶媒 可溶	
n - オクタノール/水分分配係数 (log Pow):	6.1 (23 ° C)	(OECDテストガイドライン 117)
吸着/水-土壌:	KOC: 1122; log KOC: 3.05	(OECDテストガイドライン 121)
表面張力:	64.24 mN/m (20 ° C; 0.0029 g/l)	(OECDテストガイドライン115, Ring method)

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 29. 11. 2024
製品: ISOTRIDECANOL N

バージョン: 4.0

(30034826/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 16.10.2025

粘度:	34. 9 mPa. s (20 ° C)	(動粘度から計算)
動粘性率:	42. 9 mm ² /s (20 ° C)	(DIN 51562)
	41. 4 mm ² /s (20 ° C)	(OECD 114)
モル質量:	200. 36 g/mol	

10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:

化学製品に関する適切な管理を行うこと。それ以外には特別な予防措置はない。

熱分解:

通常の手扱い条件下で危険分解物なし。

[混触危険物質]:

強酸化剤

金属の腐食:

金属に対する腐食性なし。

[危険有害な分解生成物]:

通常の手扱い条件下で危険反応なし。

[危険分解物]:

通常の手扱い条件下で危険分解物なし。

化学安定性:

製品は取扱説明書に従って貯蔵すれば安定である。

反応性:

指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

11. 有害性情報

ばく露経路

急性経口毒性

実験または計算によるデータ:

LD50 (半数致死量) ラット (経口): > 2, 000 mg/kg (OECDテストガイドライン 423)

急性吸入毒性

LC0 (0%致死濃度) ラット (吸入による): 0. 006 mg/l 8 h (IRT (inhalation risk test : 吸入暴露試験))

動物実験において、前述の暴露時間内には、死亡はみられなかった。蒸気で試験した。

急性皮膚毒性

LD50（半数致死量） ウサギ（経皮）: 約 6,000 mg/kg (OECDテストガイドライン402に類似)

急性毒性の評価

単回の経口摂取であれば、実質上毒性はなし。単回の皮膚付着であれば、実質上毒性はなし。蒸気／空気の高濃度または高飽和混合気体を吸入しても、急性毒性を示す可能性は低い。

症状

情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。

刺激性

刺激性作用の評価:

皮膚接触により刺激を生じる。眼刺激性なし。

実験または計算によるデータ:

皮膚腐食性／刺激性 ウサギ: 刺激性あり。(OECDテストガイドライン404)

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 ウサギ: 刺激性なし (OECDテストガイドライン405)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:

動物実験では、皮膚感作性は認められなかった。

実験または計算によるデータ:

皮内試験 モルモット: 感作性なし

本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

生殖細胞変異原性

変異原性の評価:

細菌類および哺乳類の培養細胞を用いた種々の試験において、変異原性は認められなかった。この製品は、完全には試験が行われていない。これらの記述は、類似の構造もしくは、類似の組成の製品から得られたものである。

発がん性

発がん性の評価:

発癌性に関するデータなし。評価できるすべての情報は、発がん効果を示す証拠はない。

生殖毒性

生殖毒性の評価:

動物実験の結果から、生殖能力低下は認められなかった。結果は、スクリーニングテストにおいて決定された。

発生毒性

催奇形性の評価:

動物実験では、発生毒性／催奇形性は認められなかった。高い経口曝露後にウサギで死亡が観察された。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

利用できる情報に基づくと、単回ばく露後に予測される特定標的臓器毒性はない。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）**反復投与毒性の評価:**

動物実験によると、この物質の高用量反復経口摂取は腎臓の障害を引き起こすことがある。

誤えん有害性

適用せず

12. 環境影響情報**生態毒性****水生生物に対する毒性の評価:**

水生生物に対し極めて毒性（急性毒性）がある。廃水処理施設に低濃度で適切に流入すれば、活性汚泥の分解活性を阻害しない。長期（慢性）毒性試験データに基づき、水生生物に対し非常に強い毒性が認められる。

魚類に対する毒性:

LC50（半数致死濃度）(96 h) 0.55 mg/l, ゼブラフィッシュ（学名：Brachydanio rerio）(OECDテストガイドライン 203, 半止水式)

毒性に関する記述は、実測濃度による。本品は試験培地への溶解度が低いため、可溶化剤を用いて溶解させた水溶液で試験を行なった。

水生無脊椎動物:

EC50 (48 h) 0.391 mg/l, オオミジンコ（学名：Daphnia magna）(OECDテストガイドライン 202-1, 止水式)

毒性に関する記述は、実測濃度による。本品は試験培地への溶解度が低いため、溶離液で検査を行なった。

水生植物:

EC50 (72 h) 0.297 mg/l (成長率), 緑藻（学名：Desmodesmus subspicatus）(OECDテストガイドライン 201, 止水式)

毒性に関する記述は、実測濃度による。本品は試験培地への溶解度が低いため、溶離液で検査を行なった。

EC10（10%影響濃度）(72 h) 0.215 mg/l (成長率), 緑藻（学名：Desmodesmus subspicatus）(OECDテストガイドライン 201, 止水式)

毒性に関する記述は、実測濃度による。本品は試験培地への溶解度が低いため、溶離液で検査を行った。

微生物/活性汚泥への影響:

EC20 (20%影響濃度) (0.5 h) > 1,000 mg/l, 家庭廃水由来の活性汚泥 (DIN EN ISO 8192, 好気性)
毒性作用の詳細は設定濃度に関係する。

魚類に対する慢性毒性:

無影響濃度 0.00523 mg/l, 魚 (算出)

水生無脊椎動物に対する慢性毒性:

無影響濃度, 0.00793 mg/l, ミジンコ属 (学名: *Daphnia* sp.) (算出)

EC10 (10%影響濃度) (28 日), 495 mg/kg dw, *Chironomus riparius* (OECD 218, 止水式)

陸生生物に対する毒性の評価:

土壌生物:

EC10 (10%影響濃度) (28 日) 1,000 mg/kg, 土壌中にすむ微生物 (OECD 216, 自然土壌)

LC50 (半数致死濃度) (14 日) 64.5 mg/kg, シマミミズ (学名: *Eisenia foetida*) (OECDテストガイドライン 207, 人工土壌)

陸生植物:

無影響濃度 (22 日), セイヨウアブラナ (学名: *Brassica napus*) (OECDテストガイドライン 208)

その他の陸生非哺乳動物:

データなし。

移動性

環境区分間の輸送評価:

水面から大気中へ徐々に揮発する。

土壌の固相に吸着すると考えられる。

残留性・分解性

除去情報:

90 - 100 % ThOD (theoretical oxygen demand: 理論的酸素要求量) に対するBOD (28 日) (OECDテストガイドライン 301F) (好気性, 家庭廃水由来の活性汚泥、未順化)

水中での安定性評価:

構造特性から加水分解はされないと考えられる。

水中における安定性に関する情報 (加水分解):

データなし。

生体蓄積性

生体蓄積性の可能性評価:

生物への著しい蓄積はないと考えられる。

生体蓄積性:

生物濃縮係数: < 285, 魚 (算出)

本品は未試験である。記述は、本品の構造に基づくものである。

[追加情報]

その他の環境毒性情報:

未処理で河川等に流さないこと。

13. 廃棄上の注意

地方自治体の規則に従って、適切な焼却施設に依頼する。

[汚染された容器]:

使用済みの容器は出来る限り空にしてから製品と同様の方法で廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国際陸上輸送:

国連番号もしくはID番号: UN 3082

品名 (国連輸送名): 環境有害性物質 (液体) (他に品名が明示されているものを除く。)
(イソトリデカン-1-オール)

国連分類 (輸送における危険有害性クラス): 9, EHSM

容器等級:

III

環境有害性:

該当

使用者への特別注意事項: 知見なし

海上輸送

IMDG

国連番号もしくはID番号: UN 3082

品名 (国連輸送名):

環境有害性物質 (液体) (他に品名が明示されているものを除く。)
(イソトリデカン-1-オール)

国連分類 (輸送における危険有害性クラス):

9, EHSM

容器等級:

III

環境有害性:

該当

海洋汚染物質: 該当

Sea transport

IMDG

UN number or ID number: UN 3082

UN proper shipping name:

ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. (ISOTRIDECAN-1-OL)

Transport hazard class(es):

9, EHSM

Packing group:

III

Environmental hazards:

yes

Marine pollutant:

YES

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 29. 11. 2024
製品: ISOTRIDECANOL N

バージョン: 4.0

(30034826/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 16.10.2025

使用者への特別注意事項:	EmS: F-A; S-F	Special precautions for user:	EmS: F-A; S-F
航空輸送		Air transport	
IATA/ICAO		IATA/ICAO	
国連番号もしくはID番号:	UN 3082	UN number or ID number:	UN 3082
品名（国連輸送名）:	環境有害性物質（液体）（他に品名が明示されているものを除く。）（イソトリデカン-1-オール）	UN proper shipping name:	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. (ISOTRIDECAN-1-OL)
国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	9, EHS	Transport hazard class(es):	9, EHS
容器等級:	III	Packing group:	III
環境有害性:	該当	Environmental hazards:	yes
使用者への特別注意事項:	知見なし	Special precautions for user:	None known

IMO機器によるバルクの海上輸送

Maritime transport in bulk according to IMO instruments

該当法規:	IBC-Code	Regulation:	IBC-Code
品名:	Alcohols (C13+)	Product name:	Alcohols (C13+)
汚染の種類:	Y	Pollution category:	Y
船舶型:	2	Ship Type:	2

指針番号: 171

国内輸送規制はSDSの15章を参照のこと。

15. 適用法令

消防法: 第4類, 第3石油類, 非水溶性

イソトリデカン-1-オール
化審法
優先評価化学物質
通し番号: 171

その他の規則

もしも、このSDSの他の章に記載されていない法的情報がある場合には、この章に記載されます。

16. その他の情報

【JIS Z 7252/7253 : 2019準拠】 本SDSに記載されていない必要項目は、情報がないことを示す。

本SDSにおいて労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。